

令和 7 年度第 1 回中央区緑化推進委員会 議事概要

【開催日】

令和 7 年 8 月 28 日（木）

【出席者】

学識経験者：鈴木委員長、木下委員

区民・事業者代表：中島委員、岸本委員、吉山委員

区職員：生島委員、三留委員、早川委員

事務局：水とみどりの課

【配布資料】

- ・資料 1-① 令和 6 年度中央区緑の基本計画 計画目標の進捗実績
- ・資料 1-② 令和 6 年度取組状況
- ・資料 1-③ 令和 6 年度中央区緑の基本計画 個別施策の進捗実績
- ・資料 1-④ 令和 6 年度グリーンインフラチェックシートの実績
- ・資料 2 桜川公園における Park-PFI（公募設置管理制度）について
- ・資料 3 次回緑の実態調査に向けた検討内容について
- ・資料 4 水とみどりのふれあいマップ（作成中版）

参考資料 令和 6 年度第 2 回中央区緑化推進委員会 議事概要

議事 「緑の基本計画」令和 6 年度進捗実績について

	意見内容
鈴木委員長	・ 令和 6 年度時点の屋上・壁面緑化の累積値 2,355 m ² は、緑の基本計画での 10 年間の目標値である 15ha に対して、少ないが、実際はどうか。 →（事務局）資料 1 にある累積値は、敷地面積 200 m ² 以上 1,000 m ² 未満の建築計画に伴う緑化計画書による値である。区全体の壁面緑化等の実測調査は、令和 9 年度に行う、緑の実態調査にて実施し算出する予定である。
木下委員	・ 壁面緑化は、道路から歩いて見える緑として、大変良いものと思っているが、実績値は、伸びていないように見える。何か、理由があるか。 →（事務局）事業者からは維持管理に手間とコストがかかるので、壁面緑化は採用しにくいと聞くことが多い。 ・ コストがかかる分、良い事例を表彰制度などで評価し、やった成果がしっかり形に現れることが出来ると良い。
鈴木委員長	・ 資料 1 ボランティア数の推移について、区全体の人口が伸びている中で、ボランティア人数が減っているのは、なぜか。この指標は、ある意味、自分の故郷を良くしたい人の数であり、良い指標と思う。 ・ 住人が区へ引っ越してきた早い段階で、ボランティア活動できる場所があることが大切である。何らかの形で、対策を重点的に検討するべき。

	意見内容
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動者数を増やすには、ボランティア活動に参加できる場所があることを、実際に現地に表示して、わかりやすく案内してはどうか。公開空地等、民有地におけるボランティア活動の実態もあると思う。 →（事務局）区で管理する公園や花壇以外でのボランティア活動者数は、資料1の数字には表れてこないため、潜在的なボランティア活動数はもう少しあると思っている。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の体験イベントは「ある程度放置された手つかずの自然」と「庭園のような手の入っている自然」と「普段のまちの緑」を一体化して体験してもらい、これを中央区の良さとして体験してもらおうと良いのでは。そういう意味では、区は、浜離宮の活用をもっと検討してもよいと思う。
岸本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全ネットワークの活動として、浜離宮内のボランティア清掃を行った際は、自然に触れながら清掃を行ったことで、大変良い経験になった。木の種類や葉などの説明を受けながら行った。浜離宮側は、地域によるボランティア活動を歓迎してくれていた。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の基盤があれば、築地の跡地のような新しい施設ができた時にも、それが地元に着定するような土壌になるのではないか。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・はな街道の活動では、近隣の小学生が活動に参加している。子供たちには、自然を大切にする心を育むこと、大人になったときのボランティア活動のベースとなる体験をしてもらうことの両方を期待している。

議事 桜川公園における Park-PFI(公募設置管理制度について)

	意見内容
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本の森ちゅうおうとの往来がしやすいと、なお良い思う。 ・中央区の森産材の活用について検討してほしい。 →（事務局）公園施設とあわせて、地域の皆様と検討中である。
木下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・Park-PFIの事業者選定委員会では、委員を務めさせていただいた。会議では、建築面積や業態についてなど、いろいろな意見があったと記憶している。 ・原案に対する地域の方々の、現時点でのご意見というのは、どうか。 →（事務局）地域、事業者、区が協力して公園連絡会を立ち上げ、公園施設について検討している状況である。業態についても、インバウンド等にも期待し、地域で相乗効果を狙っていく。

議事 次回 緑の実態調査に向けた検討内容について

	意見内容
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・国の方針見直しがあったタイミングであり、このような検討を行う時期としては、ちょうど良い。 →（事務局）方針が出てすぐのため、参考とする他自治体事例がない状況。今後の進め方について、委員の皆様にご意見をいただきながら進めていきたい。

議事 その他 水とみどりのふれあいマップの改定版作成について

	意見内容
鈴木委員長	・ マップは、ウェブサイトに掲載するだけではなく、スマホで見ながら回るようなことが出来ると良い。 →（事務局）現時点では、紙とウェブサイト掲載の併用を予定している。
三留委員	・ 区の事業ではあるが、区の管理施設の紹介にとどまらずに、都道国道など、さまざまなものを掲載して良い。例えば、中央通りの「はな街道」を紹介して良い。
鈴木委員長	・ 人とのつながりが見えてくると、緑を身近に感じることができる。「人」「場所」「植物」が結び付くと親しみやすい。例えば、中央通りも、はな街道のエピソードがあると、現地の見え方が変わってくる。そういう工夫があって良い。
木下委員	・ 夏場に向けて、クールスポットの表示が凡例にあると、良いのではないかと。ミストに限らず、まとまった緑陰がある場所もクールスポットとなる。 →（事務局）テレビでも良く紹介されている三原橋のミストなど、掲載を検討する。
鈴木委員長	・ これだけ密度の濃いエリアなのに、地図上の浜離宮と築地跡地が別物みたいに絵が抜けている。まったく別の場所のような見え方をしているので、工夫してほしい。
吉山委員	・ 築地の再開発については、2028年着工予定なので、今回改訂の地図には、散策コースとして紹介するのは難しい状況である。
岸本委員	・ 日本橋の中央通りや、築地、明石町はコースから抜けている箇所について、何か工夫できるとことがあれば取り入れてほしい。
鈴木委員長	・ 改訂作業は、大変だと思うが、事務局はぜひ楽しみながらやってほしい。